

「奥義を知る人生 秘められた計画」

～不従順をも用いて救う神～

ローマ 11：25～36

■ 私たちの価値観

私たちはこれまで、様々な環境で、色々な経験をして歩んできました。誰もがその中で築き上げた価値観を持っています。その培ってきた価値観が実は間違っていることを、神様と出会って初めて知ることができました。聖書が理解できない、その大切なものが受け取れないのは価値観が間違っているからです。的を外していること、そのようなズレを間違い：罪だと言っています。ズレに気付いたら戻せばよいのです。間違っていたのだということ素直に受け入れ、元に戻そうとします。聖書は「元に戻す：悔い改める」ためのプロセスを教えています。生き様を通して、まっすぐ歩むべき道を教える聖書、その聖書の価値観を受け取っていきましょう。

■ イスラエルの人々が救われず、なぜ私たち？

①現実：イスラエル人の一部しか救われていないのは、神の計画である。ローマ9-11章

神の計画：イスラエルの救いは異邦人の救いへの妬みによって完成します。その神の計画をイスラエルが拒否したのは、従わない頑なである心の故です。義を履き違えてしまう、頑なによって神の忠告を無にしてしまったのです。

②拒んだ理由：イスラエルが拒んだ理由は彼らの頑なさ

イスラエルの頑なさは、神の義についての無知から来ています。正義は自分を判断するものであり他をさばくものではありません。

③解決：神の計画通りに進んでいる

レムナントの存在がある。イスラエル全体が拒否したのではない。

レムナント：残された人たち…一部のイスラエルは救われます。イスラエルは、異邦人が救われるためにつまずいたのです。

■ ①イスラエルの最終的な救い

ローマ11：25-29「兄弟たち。私はあなたがたに、ぜひこの奥義を知って頂きたい。それは、あなたがたが自分で自分を賢いと思うことがないようにするためです。その奥義とは、イスラエル人の一部が頑なになったのは異邦人の完成がなされる時までであり、こうして、イスラエルはみな救われる、ということです。こう書かれているとおりです。「救うものがシオンから出て、ヤコブから不敬虔を取り払う。」11：25-26

ここでイスラエルの最終的な救いの宣言がされています。

「兄弟たち。私はあなたがたに、ぜひこの奥義を知って頂きたい。」「兄弟たち、…次のような秘められた計画をぜひ知ってもらいたい。」(新共同訳)

■ 神の奥義

「奥義」：ギリシア語で「ムステリオン」英語訳では「mystery」ミステリー：秘められた本質、かつて隠されていたものが啓示によって明らかにされていくこと。

心の貧しいものとなって神様を求め、私たちのためにあらかじめ知らされている奥義を知ろうとし、それを理解できてこそ、ミステリーは全ての人に知恵となって開かれます。自分の価値観で生きてそれを理解しないしていると、用意されていた恵みは過ぎ去っていつてしまうのです。

■ 賢いと思う うぬぼれ

「それは、あなた方が自分で自分を賢いと思うことと思うことがないようにするためです。」「自分を賢い者とうぬぼれないように、」(新共同訳)

・異邦人信者の中に、神の救済計画はすべて分かったと思っている人がいた。

・彼らほうぬぼれていた。

「彼らは、福音によればあなた方のゆえに、神に敵対している者ですが、選びによれば、父祖たちのゆえに、愛されている者なのです。神の賜物と召命とは変わることがありません。」11：28-29

～私たちがどんな状態であろうとも神様の恵みは終わることがありません～

■ ②普遍的救いの原則

ちょうどあなたがたが、かつては神に不従順であったが、今は、彼らの不従順さゆえに、憐れみを受けているのと同様に、彼らも、今は不従順になっていますが、それは、あなたがたの受けた憐れみによって、今や、彼ら自身も憐れみを受けるためなのです。」11：30-31

・神は、人間の不従順に救いをもたらすための方法として用いられた。

・イスラエル人も異邦人も、信仰により恵みによって救われる。

■ ③頌栄

「ああ、神の知恵と知識との富は、何と底知れず深いことでしょうか。そのさばきは、何と知り尽くしがたく、その道は、何と測り知りがたいことでしょうか。なぜならだれが主のみこころ知ったのですか。また、だれが主のご計画にあずかったのですか。また、だれが、まず週に与えて報いを受けるのですか。というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン」11：33-36

・「神の知恵と知識」を思い、神をたたえている。

・イスラエルに対する神の計画を神の視点から理解すると驚嘆させられる。

神の奥義を知る。神の賜物と召命は変わらない。うぬぼれを取る。神は不従順なことからも救いをもたらす。神の計画は神の視点に＝礼拝と御言葉

■ まとめ

平安がいつもありますか？平安からくる余裕を携えていれば、人に指を指すことはなくなり、自分の間違いを認めて、神様の目線で互いに愛し合うことをあきらめず歩めますように。そして御言葉によって生きる私たちには、和解の努め、その先の祝福が備えられています。イエス様が十字架によって私たちの全ての呪いを引き受け、罪を背負ってくださったからです。神様、その命のバトンを継承するための準備を忘れないようにしてください。礼拝を尊び、御言葉に生きたいと思う私たちの祈りを支え、導いてください。あなたがいつも私の前にあって知恵を与えてください。いつもあなたの平安がありますように。

(要約者：牧 三貴子)

(2019年10月6日)